



栄養学科准教授
浅田 豊
アサダ ユタカ

ん、我々大学教職員一同がそれぞれに、大学教育の在り方を今一度捉えなおすことは、有意義ではないでしょうか。『大学での学び』に参考となる知見が示されています。

大学図書館という名の推論や感性の銀河に、心ゆくまでその身をうずめ、観念をとき放ちつつも、読書の冒険を通じて、新しい自分と出会い対話することを是非、楽しんでください。

「ひらめきや共鳴という名の輝き」

日常に刻まれた読書は我々に、教養や研究、趣味、リフレッシュなど実に多様な目的を省察させてくれます。ここに紹介する図書も、まだ見ぬひらめきや共鳴を与えてくれるのではないのでしょうか。

コロナ禍の今日、リモートやハイブリッドにおいて学びを深化させる時、授業者側には技術が、学習者側には準備が求められます。社会全体ではテレワークも推奨されています。『医療者のための教える技術』『新型コロナウイルス感染症からの教訓』では、そのことに資する具体的な指針が示されています。

また学修の中には用具的側面があり、読解や探索の力が重要であると同様に、表現、創造に加え、実社会の中で課題を発見する、あるいは他者と議論・交流する力の育成が不可欠です。『知的文章術入門』、『グループディスカッション』から得られるものは大きいと思います。

さて、日常の中で皆さんは何か依存しているということがありますでしょうか。筆者は朝昼晩のコーヒーをもう少し量を減らさなければいけないと感じています。自分を客観的に見つめ直すためにも、『あなたもきっと依存症』は非常に役に立つと思います。

花吹雪が希望を語る季節、新入生の皆さんご入学おめでとうございます。学生の皆さん

教職員のおすすめ本



『医療者のための教える技術：
オンラインと対面のハイブリッド
教育研修』
杉浦真由美
メディカ出版
490.7||Su48



『新型コロナウイルス感染症
＜COVID-19＞からの教訓：こ
れまでの検証と今後への提言』
帝京大学大学院公衆衛生学研究科編
大修館書店
498.6||Te25



『知的文章
術入門』
黒木登志夫
岩波新書
岩波書店
816||Ku75



『あなたもき
っと依存症：
「快と不安」
の病』
原田隆之
文春新書
文藝春秋
493.74||H32



『グループディスカッション：
心理学から考える活性化の
方法』
西口利文ほか
金子書房
電子書籍



『大学での学び：その哲学と
拡がり』
田中俊也
関西大学出版部
電子書籍